

# 国道16号バイパスの沿道、開発利用を

上野 勝 議員(緑)

答弁 私としては開発したかった



元狭山地域を通る16号バイパス

**質問** 平成8年にバイパスが開通して10年、日に5万台以上の車が通過し、大型商業施設の開店により、多くの買い物客で賑わい、瑞穂町のイメージアップに貢献している。しかし、多大な買収、建設費を掛けたバイパスが開店した店は少ない。沿道が農業振興地域に指定され開発が阻止されていたためである。雇用、税収、魅力ある店など町の活性化に沿道の開発は時代の要請である。将来を見据えた決断をすべきだが、町長の所見を伺う。

で、今度都市開発を行うのであれば、その周辺と考えていた。しかし、地元の方々の民意がまとまらず、一方で、栗原地区の方々が積極的に動かされたことや地元議員の推薦もあり、先に栗原地区への事業を決断した。町としては、新たな区画整理事業を行うことは財政

上困難であり、また、地域の方々の積極的な協力がないのではどうにもならない。

**こんな質問もありました**  
住基カードの活用を。  
町長 町単独での新たな取り組みは困難。



# 「自衛隊受け入れ容認」行政にどう生かす

小池 信一郎 議員(瑞)

答弁 飛行直下に目に見えた施策を要請

**質問** 3年半に及んだ在日米軍再編協議も5月1日に決着した。2月11日の町長の「概ね容認」から4カ月が過ぎ、この間住民は最終報告に至る過程を静かに見守ってきた。その背景には、周辺自治体に比べて立ち遅れている生活環境の整備に国の手厚い地域振興策を求める思いがある。再編に係る全国の自治体に先駆けて自衛隊受け入れを容認した町は、町民の将来のために判断したものと考えるが今後、行政にどう生かすのか所見を伺う。

自治体に対しての地域振興策に関しては、5月30日に閣議決定された。しかし、それを具体化する法律の制定や、新しい交付金の創設などについては現在明らかになっていない。町としては情報収集に努めるとともに特に飛行直下の地域にはつきり目に見えた施策が行われるよう折衝を重ねている。

**こんな質問もありました**  
教育行政の今後の方針は。  
町長 学力向上が最重要課題。



低空で飛ぶ大型機(箱根ヶ崎地区)

# 高齢者や障害者の視点で街づくりを

青山 晋 議員(公)

答弁 バリアフリーのまちづくりを目指す



スロープや点字ブロックが整備されている狭山谷公園(石畑)

**質問** 今国会には高齢者や障害者が移動しやすい街づくりをさらに進めていくために、道路や公園の段差を解消し、点字ブロックを整備するバリアフリー化を地方自治体に義務付ける新バリアフリー法案が提出された。この法案は交通バリアフリー法とハートビル法を統合した法案で、年度内の施行を目指している。

**町長** 町では、地域保健福祉計画に基づき、ハード・ソフト両面での「バリアフリーのまちづくり」を目指している。ハード面では、道路の段差解消など必要性の高い所から優先して取り組んでいる。  
ソフト面では、高齢者や障害者の意見を反映させるため、「福祉まちづくり推進協議会」を設置する。いずれにしても健全者には気づかないことも多いので、その点を十分認識しながら推進していきたい。

# 議会傍聴

9月定例会(予定)

- 8月25日(金) 議会運営委員会
- 9月 6日(水) 本会議(一般質問)
- 7日(木) 本会議(一般質問・議案審議)
- 8日(金) 本会議(議案審議)
- 11日(月) 決算特別委員会
- 12日(火) 決算特別委員会
- 13日(水) 決算特別委員会
- 15日(金) 総務常任委員会
- 19日(火) 産業建設常任委員会
- 20日(水) 厚生文教常任委員会
- 22日(金) 議会運営委員会
- 26日(火) 本会議

9月定例会における請願、陳情の受付締め切り日は8月23日(水)になります。

お問い合わせ 議会事務局 TEL.557-7693(直通)